

てんさんぽ その63 てんてん 系川あひつ



飲めるたんさん水が出るほこらの中にあつた観音様と、「たんさん」と書いてある石はえんぺい寺休憩所にまつてあるということを知り、すぐに見に行ってきました。このことは末広中央公園で行われたタンサンフェスで「宝塚温泉の歴史」をパネルにしていた方に教えていただきました。

2年前、たんさん水のほこらの話を聞いた時は、もうこのことに関しては何もわからないのかもしれないと思っていたので、実物の観音様を見られた時は本当にうれしかったです。観音様は温泉のオレンジ色に染まってました。

てんてん (貂々)

宝塚市大使 やすみりえの「川柳日和り」

本誌3月号で「時間」をお題に川柳を募集。応募総数82句の中から川柳作家のやすみりえ先生が選んだ秀作を紹介しします。

天

腕時計
はずし気ままな
定年後

福西容子 様

講評

時間というお題から、腕時計という小道具を上手く用いて完成なさいました。定年後の時間には「気ままな」という言葉が似合いますね。

地

半世紀
巻きもどしては
別の道

洋子 様

講評

人生における時間を詠んだ一句。決して戻ることにはできないと分かっている、「もしもあの時に・・・」なんて思うことありますね。

人

チャイムまで
粘るブランコ
あとふたり

鯛蛇 様

講評

小学校の休み時間、校庭で楽しく遊ぶ様子が見えてきました。まだブランコに乗ることができていない二人の表情を想像したくなりますね。

佳作

人生の一人時間差決まらない

中神國彰 様

たつぷりと一日は有る朝寝する

大昇たみこ 様

おばあちゃん時間を越えて会いたいな

桜山あまね 様

ロスタイムあって円満老夫婦

古川裕美 様

やすみ先生の一句

砂時計さらさら春が流れてく

時の流れを眺めて楽しむ砂時計。懐かしい雰囲気浮かんできました。「春」という言葉に、皆さんのかけがえのない思い出を重ねて味わってみてください。



総評

今回は幅広いとらえ方で「時間」を詠んだ作品にたくさん出会うことができました。のんびりとした時間や慌ただしい時間など、作者によってさまざまなものが良いですね。伝えたいことをシンプルに、ポイントとなる言葉をひとつ決めて作句してみましょう。

お題 「学ぶ」

対 市内在住・在勤・在学の人

申 7月15日(火)までに、

はがきに、〒住所・名前・電話番号とお題をもとにした川柳(未発表作品のみ、3句まで)、作品について一言を書いて、〒665-8665(住所不要)市役所広報課「川柳」係へ。二次元コードから申し込み可。入選者にはプレゼントあり

問 広報課(☎77・2002 FAX74・6903)

